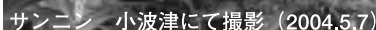


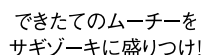
「イイショウダチデービル」

ムーチーとは 旧暦十二月八日に
サンニン（月桃）の葉に包んだ餅を
仏壇・神棚・火の神などに供え、厄
払いの祈願、とくに子どもの健康祈
願をする行事です。この行事は沖縄
本島や周辺離島で行われ、宮古や八
重山地方では行われていません。こ



陽)。

私たちが住む西原町でも昔からの時期になるとムーチャーが必ず行われています。ムーチャーは子どもたちが楽しみしている行事の一つで、以前は自分の年の数だけ細縄で家の壁につるし、毎日一つずつ食べていました。また、男の子には、力強く成長してほしいと願ってクバ（蒲葵）の葉に包んだ大きな餅「チカラムーチャー」も作っていたそうです。昔も今も変わらないのが「ハチムーチャー（初餅）」です。子どもが誕生し、初めてのムーチャーを迎える家庭では大量のムーチャーを作って親兄弟や親戚に配っています。



朝賢『東汀隨筆』によると

にも同じような話があります

みなさんの家では何日にムーチー



なかには美味しそうなムーチーが!

ムーチーの頃は一年で最も寒くなる季節で「ムーチービース」がやってきます。体調を崩しやすいこの時期、子どもたちの健康を願う親心は、どの集落でも変わらないということです。がムーチー行事からわかりますね。

『沖縄の祭りと行事』
比嘉政夫

『西原町史』第四卷 西原の民俗
『南風原町史』第六卷 民俗資料